



クロホオズキ *Nicandra physaloides* ナス科

名古屋大学博物館友の会

NUM 友の会ニュースレター

No. 75

2024 年夏号

5年ぶりに「友の会の集い」を開催しました

2024 年 6 月 29 日（土）13:30～15:00

出席 31 名、委任状 95 名

NUM 友の会総会

2023 年度活動報告

1. ニュースレター発行 年 4 回
2. 活動内容
 - ①ポタニカルアートサークル（1 クラス）
2023 年 7 月に東海林先生引退 山田先生へ
 - ②写真サークル写真展
2023. 3. 6～5. 26 2024. 3. 4～5. 17
 - ③ポタニカルアートカレンダー2024 版 発行
 - ④野鳥観察会ギャラリートーク（2023. 11. 23）

3. 会計報告（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

1. 収入		円
前年度より繰り越し		701, 287
会費（2023 年度分）		24, 000
会費（2024 年度分）		155, 900
収入合計		881, 187
2. 支出		
郵送代（ニュースレター発送等）		89, 984
カレンダー作成補助		-12, 605
事務経費（ニュースレター印刷、 事務用品購入等）		101, 273
支出合計		178, 652
3. 残金		
来年度繰越額		702, 535

上記に相違ないことを報告します。

担当者：松本晃子 確認者：石井郁代

2024 年度活動方針

1. ニュースレター発行 年 4 回
2. 友の会の集い再開（2024. 6. 29）
3. ポタニカルアートカレンダー2025 発行
4. 会員限定企画の充実
ギャラリートーク・会員特別枠・会員の交流

行事予定の早期発信・サークル活動支援など

5. 博物館活動に対するボランティアのお願い

6. 2024 年度事務局体制

代表：足立 守

副代表：川瀬隆夫

会計：松本晃子

広報：小林身哉、中澤満里子、西口幸子

竹内まゆ美

会計監査：山田富久

* ボランティアの方々へ感謝状を贈呈

2024 年以降、4 年に一度（オリンピックの年）、ボランティアの方に NUM 友の会総会において感謝状およびお礼を贈呈することとなり、本総会で足立代表より 7 名の方に感謝状が贈られました。

♪ミニコンサート♪

南米の風をあなたに

ティエラブランカ（白い大地）

初夏のフォルクローレを楽しみました



1. モンテブנק
2. 谷間に咲く花々
3. コンドルは飛んで行く
4. ウカマンピムナタファ（いつまでも君を愛す）
5. 人生は美しい
6. 愛の夢
7. イミリタイ（可愛いあの子）
アンコール 花祭り

奏依頼等は、ティエラブランカ代表 村瀬直司まで
070-6413-8355
tierra.suipaigi@icloud.com

ティエラブランカに関する情報はブログをご覧ください
「ティエラブランカのフォルクローレ日記」で検索
あるいは左記 QR コードをご利用ください。

返信はがきに寄せられた会員の声

- ・2023年4月に入会しましたが、この1年間どなたともお会いできていません。名ばかりサポーターでもいいかとも思っていますが、集いに参加させてください。何かできることがあればいいのですが（76歳の元技術系職員）AT
- ・友の会ニュースレター、楽しく拝読しました。今後ともご教授ください。天野智美・彰
- ・いつもありがとうございます。楽しく活動しています。KK
- ・友の会のニュースレターをありがとうございます。毎回、なんのチラシが入っているのかな、と楽しみにしています。KH
- ・申し込んでおこななくても自由に参加できる催しがあるとあったらいいな、と思います。KE
- ・絵ハガキ、販売していますか？ST・SY
- ・友の会ニュースレター及び飛驒の自然、木曾馬の説明などを知恵の泉の如く楽しく読みました。次回も待っています。SM
- ・子ども（2歳、0歳）と一緒に学び、自然に目を向けていきたいと思っています。企画やニュースレターを楽しみにしています。SM
- ・ニュースレターを楽しみにしています。ミニコンサートを楽しみにしています。SR
- ・地域の公民館（萩山公民館）で活動しています。このところ”フレイル予防”をテーマに催しやクラブ活動を進めています。公民館で配布できる貴博物館のチラシを提供いただけませんか？TM
- ・コンサートイベントがあるようになるといいです。会員証の大きさが、その他のカードの大きさと同じになるように小さくなるといいです。TK
- ・生きていれば100歳、105歳になる両親は、木曾福島の生まれ育ちです。先祖は木曾馬の飼育をしていたそうです。CY
- ・博物館にはなかなか伺えませんが、ニュースレター、チラシ、しっかり読んでいます。TS
- ・毎回、友の会ニュースレター楽しみにしています。ポタニカルアートのカレンダーも気に入っています。NK
- ・ニュースレター、楽しく読んでいます。HM
- ・定年退職したので、今年はぜひ参加したいと思っていましたが私用と重なり残念です。登山が好きなので、「飛驒の自然」は楽しみにしております。MM
- ・いつも企画展を拝見しています。「飛驒の自然」も楽しみです。MA
- ・友の会ニュースレターを毎号楽しみにしています。今回は特に「念願の山行」が興味深かったです。MT
- ・「Artist Earth」の冊子が発行されたら、足立先生の講演会の開催を希望します。YK
- ・ニュースレター毎回楽しく見えています。植物が好きなので観察会にも参加できたらと思っています。IY
- ・皆様にお会いできることを楽しみにしています。WN

会員随想

木彫りと私

石井郁代

日本木刻対象や平櫛田中賞などを受賞された黒蔵壮先生について木彫りを習い始めてから9年ぐらい経ちました。それまで30年位習っていた伊藤多賀志先生が高齢の為木彫り教室を止められたので、僕の教室へ来ては？と誘われ、恐る恐る出かけたのですが、とても楽しい教室だし立体のものをどんどん彫らせて下さるので月2回、楽しみに出かけています。

今は宇治の平等院の壁にかかっている雲中供養菩薩を図録を見ながら彫って行くのですが、プレゼントすることを考えて二体目を彫っています。長く彫っていても顔は特に難しく先生に手伝ってもらってやっと完成する有様です。これが完成したら次は、聖徳太子像を高村光太郎氏の作品を参考に彫りたいと思っています。

木彫りの教室では楽しい仲間があり、又よろこんで我が家へ通ってくる弟子たちもいて、私の人生を明るく楽しくしてくれています。この先いつまで彫れるかわかりませんが、できるだけ長く続けたいと思っています。



雲中供養菩薩（2024年石井郁代作、材質はクスノキ）

石井郁代様は、NUM友の会発足の頃から2023年度まで、会計監査を引き受けてくださいました。ありがとうございました。

**ボラン
ティア
募集**

友の会では随時ボランティアを募集しています。ニュースレターの発送など、一緒に活動しませんか？

ご希望の方は友の会事務局までお問合せください。Eメール：hakubututomo@gmail.com

万葉の花 その 13

ヒカゲノカズラ

三矢保永

あしひきの ^{かつら}山葛 かげ ましばにも えがたきかげを

置きや枯らしむ

作者不詳 万葉集卷十四 3573

大意 あしひきの山の中に生えているヒカゲノカズラのような、そうそうは得がたい美女を、そのまま置きっ放しにして枯らすようなことなど、決してしない。

注 “あしひき”は、山にかかる枕詞。“ましば”は、しばしば、たびたびの意。巻四の譬喩歌の連続する5首の歌群の2番目の歌で、ヒカゲノカズラ（日陰蔓、日陰鬘）を、めったに得られない美女に喩えています。5首全体を読み比べると、男集団の場で、思い人や忍び妻を木や草に喩えて、囃し立てたり、得意気になったりして、うけ狙いの調子が分かります。若者集団の健康的な冗談が伝わってくるようです。日陰蔓は、シダ植物で、写真からも分かるように、初夏の頃に枝を垂直に伸ばし、その先端に2、3に分岐した孢子囊（のう）穂を付けます。孢子囊穂は摘み取った後も、緑色を失わないため、髪飾りや神祭りに使われ、また孢子は、石松子として薬用され、得がたい貴重品であったようです。

参考文献1：山田卓三 万葉植物事典 北隆館

参考文献2：伊藤博 萬葉集釈注 集英社文庫ヘリテージシリーズ



撮影 写真サークル 脇田光江
撮影地 東山植物園

Artist Earth 地球は芸術家 25

ソールマーク (sole mark)

足立 守

宮崎県青島海岸の“鬼の洗濯板”は、硬い砂岩の層とあまり硬くない泥岩の層が交互に積み重なった地層（砂岩泥岩互層、さがんでいがんごそう）のことです。こうした砂岩層の下面（ソール=sole）にはソールマーク (sole mark) という堆積構造がよく見られますが、どのようにしてできるのでしょうか？ ここではフルートキャスト (flute cast、写真上) とグルーブキャスト (groove cast、写真下) という代表的なソールマーク2つを紹介します。

大陸棚には陸から運ばれてきた土砂や砂礫がたまっています。この土砂が地震などをきっかけにして深海底に運ばれていく時には、乱泥流（らんでいりゅう）あるいは混濁流（こんだくりゅう、タービディティカレント）と呼ばれる大量の土砂を含む流れになります。下って行く途中で、普通の流れよりも大きなエネルギーをもつ乱泥流は海底の泥の層の表面を削っていきます。削られた窪みはすぐに砂で埋められて砂の層の最下部になります。こうしてできた砂岩層の下にあった泥岩がはがれ落ちると、ソールマークという出っ張り模様が顔を出します。フルートキャストはやや尖った先端部分から流れ下った方向に広がっていくことが実験で分かっているの、その形から土砂の運搬方向が決定できます。



フルートキャスト（写真の横は約1m）。地殻変動によって砂岩層の下面がよく見えている。流れの向きは左上→右下。

宮崎県都井岬。京都大学。

一方、グルーブキャストは乱泥流が削り取った泥の塊などによって海底の泥岩にできた溝を砂が埋めたものです。直線的に伸びるグルーブキャストからは土砂の運搬方向は分かりません。



粗粒砂岩層の下面のグルーブキャスト（写真の横は約1m）。流れは左→右あるいは右→左。北海道夕張。地質調査所。

野外観察園 2024 夏

吉野奈津子

毎日猛暑は続いています、植物は暑さに負けず元気に育っています。

観察園では地湧金蓮（チュウキンレン）が咲きました。6月下旬だったでしょうか。私が休職していたころに代理の方が持ってきたもので、毎年枯れもしませんが、目立って変化があるわけでもなく……。直径 40 cm くらいの陶器の鉢に植えてしまったので重たくて動かすことができなくて、池の脇に置いたまま鎮座し続けかれこれ 15 年。今年は先端がちょっとぷっくりとしていて、もしかして、と思っていたところです。黄色いのは苞（ほう）といい、葉が変化して花を守っている器官です。苞の付け根に見えているのが花で、筒状の花が並んでいます。花には常にアリがたかっています。蜜がたくさん出るのかな、と思ってなめてみましたが思ったほど甘くはありませんでした。雨水で薄まったのかも。

地湧金蓮とはうまく名付けたものです。鮮やかな黄色は金を思わせます。黄色い花は縁起が良さそうな気がします。アリさんのおかげで受粉はされているようですが今のところ実っている気配はありません。開花の期間は 3 か月ほどあるらしいのでまだまだ期待はできそうです。種子ができたならもっといいことがありそうですね。



花の拡大図

チュウキンレン *Ensete lasiocarpum* バショウ科



パイナップルリリー *Eucomis* sp. キジカクシ科



トウカイコモウセンゴケ

Drosera tokaiensis subsp. *tokaiensis*

モウセンゴケ科



キカシグサ *Rotala indica* ミソハギ科

名古屋大学博物館友の会ニュースレター 2024 年 7 月 29 日発行

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付

電話：052-789-5767（博物館事務室） F A X：052-789-5896（博物館事務室）

Eメール：hakubututomo@gmail.com アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2 番出口

ホームページ：http://www.num.nagoya-u.ac.jp/fan

年会費 1000 円（4/1～3/31） 10/1～3/31 に入会した場合は 500 円（次年度は 1000 円）

家族会員制度あり（同居の家族 1 名まで年会費を免除）

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号：00800-8-166807 加入者名：名古屋大学博物館友の会

他銀行からの振り込み 店名〇八九（ゼロハチキュウ） 店番（089）当座 0166807